

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 23-006

PDCA	事務事業名	道路維持修繕事業(維持修繕・改修)	部課等名	建設部土木課 建設担当	担当	鵜飼	
					内線等	437	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第4章 安全で快適に住み続けられるまち 節： 第2節 都市基盤の整備 基本施策： 3. 交通体系 単位施策： (2) 生活道路の整備 個別施策： ①安心して利用できる道づくり					
	根拠法令等	—					
	対象・目的	市道における道路構造物の適切な維持管理					
	目的を達成するための手段・活動内容	道路パトロールおよび道路施設現況調査の結果による修繕計画に基づき、予防保全的な観点から計画的に修繕を進めていくとともに、住民要望等については、その内容を十分に精査し、緊急性、必要性を考慮して適切に修繕を実施する。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	29年度	30年度	元年度	単位	
		①住民要望(個票)により実施した件数	62	60	57	件	
		②住民からの口頭等の要望及び道路パトロールでの発見により実施した件数	2265	1055	1018	件	
		③過年度要望を予算化して実施した件数	83	23	124	件	
		事業費	313,911	293,039	285,744	千円	
		人件費	18,396	15,245	10,812	千円	
		総事業費	332,307	308,284	296,556	千円	
		活動単位当たりのコスト	29年度	30年度	元年度	単位	
	①道路維持に係る要望等1件当たりにかかるコスト	138	271	247	千円		
	成 果	成果指標	29年度	30年度	元年度	単位	
		①道路維持改修路線数	実績値	12	11	5	路線
			目標値	12	11	5	
			実績値				
			目標値				
実績値							
目標値							
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ある
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※手段の変更	
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	—
	事業の評価・課題	B					
		住民要望や道路パトロール等により、計画的に実施した5路線の道路改修工事のほか、道路瑕疵の原因や通行に支障となる危険箇所の修繕・改修工事を実施し、健全な生活道路を確保することができた。引き続き、毎月2回の道路パトロールにより、市内一円の危険箇所の早期発見と修繕を行う必要がある。					
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進				
		定期的な道路パトロールを継続する中で、危険箇所を早期に発見し、修繕・改修を行うことにより、安心して利用できる生活道路を維持する。また、住民要望については、緊急性や必要性を踏まえ、早期対応に努めるとともに修繕・改修計画を作成し、計画的に整備を実施する。					
令和2年度の目標		成果指標	目標値	単位			
		①道路維持改修路線数	10	路線			